

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

| | |
|-------|--|
| 施設名 | 大和スポーツセンター、草柳庭球場、桜森スポーツ広場、下福田野球場、 下福田スポーツ広場 |
| 指定管理者 | 公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団 |
| 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 |

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の管理運営に関する主な業務実施状況

(1) 窓口業務

- ①施設保険の受付：0件
- ②苦情、要望等への対応：苦情・要望36件

(2) スケジュール管理業務

①スケジュール会議の開催

屋外施設：事前調整のみで完了。 屋内施設：事前調整のみで完了。

- ②施設予約の抽選：4/1(土) 5/1(月) 6/1(木) 7/1(土) 8/1(火) 9/1(金)
10/1(日) 11/1(水) 12/1(金) 1/1(月) 2/1(木) 3/1(金)

(3) 経理業務

- ①利用料金の収入・還付実績の作成
- ②収支決算書の作成

(4) 報告、統計業務

- ①施設点検チェックシート（大和市公共施設保全計画）：8/24（木）
- ②消防設備報告書：3/25(月)提出
- ③月報：前月分の状況を毎月15日までに提出

(5) 情報提供業務

- ①ホームページの管理運営：財団情報サイト「やまとナビ」日々更新
- ②情報誌の作成：財団情報誌「とりころーる大和」隔月発行
- ③新聞、雑誌等の提供：新聞は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため提供せず。
雑誌は3誌提供。

(6) その他の業務（日常業務）

- ①大和スポーツセンター清掃の日：5/25(木)
- ②大和スポーツセンター消防訓練：5/25(木) 12/20(水)
- ③ドクターヘリの対応：なし
- ④救急車の要請：22件
- ⑤盗難、事故等の対応：なし
- ⑥補修業務：14件（施設、器具等の修理など）

(7) 委託業務実施状況

| 施設名 | 業務内容 | 回数等 |
|--------------------|----------------------|-----|
| 大和スポーツセンター 体育会館 | 日常清掃業務 | 年間 |
| | 設備管理業務 | 年間 |
| | 警備業務 | 年間 |
| | 床面定期清掃業務 | 月1回 |
| | 窓ガラス清掃業務 | 年3回 |
| | 衛生害虫駆除 | 年2回 |
| | 貯水槽清掃業務 | 年1回 |
| | 給水ポンプ点検 | 年1回 |
| | 水質検査(10項目) | 年1回 |
| | 水質検査(15項目) | 年1回 |
| | 冷温水発生器保守点検 | 年4回 |
| | AHU | 年4回 |
| | FCU | 年4回 |
| | フィルター除塵装置清掃 | 年4回 |
| | 送排風機点検 | 年4回 |
| | 空調用ポンプ点検 | 年4回 |
| | 圧力容器点検 | 年1回 |
| | 給湯設備保守点検 | 年1回 |
| | 消防設備保守点検(体育会館・競技場) | 年2回 |
| | 競技表示システム保守点検業務 | 年1回 |
| | 体育器具保守点検業務(トレーニング機器) | 月1回 |
| | 体育器具保守点検業務(体育器具) | 年1回 |
| | 夜間警備業務(体育会館・みなみ風) | 年間 |
| | 自動ドア保守点検業務 | 年3回 |
| | トイレ消臭設備等保守点検業務 | 年6回 |
| | 放送設備保守点検業務 | 年2回 |
| | 移動観覧席保守点検業務 | 年1回 |
| | エレベータ保守点検業務 | 月1回 |
| | トレーニング室カーペット清掃業務 | 年1回 |
| | 空調自動制御設備保守点検業務 | 年1回 |
| 資源分別回収運搬処分業務 | 月1回 | |
| みなみ風冷蔵機器保守点検業務 | 年3回 | |

| | | |
|-------------------|------------------|-----|
| 大和スポーツセンター 競技場 | 管理業務 | 年間 |
| | 夜間管理業務 | 年間 |
| | 夜間警備業務 | 年間 |
| | 芝生維持管理業務 | 年間 |
| | 機器保守点検 | 年1回 |
| | 樹木剪定業務 | 年2回 |
| 大和スポーツセンター プール | 管理業務 | |
| | 受水槽、プール及びピット清掃業務 | |
| | 濾過装置保守点検業務 | |
| 草柳庭球場 | 管理業務 | 年間 |
| | 夜間管理業務 | 年間 |
| 桜森スポーツ広場 | グラウンド整備業務 | 年1回 |
| 下福田野球場 | トイレ清掃業務 | 随時 |
| | グラウンド整備業務 | 年1回 |
| | 浄化槽清掃、保守点検 | 年6回 |
| 下福田スポーツ広場 | 芝生維持管理業務 | 年間 |
| | 浄化槽清掃、保守点検 | 年6回 |
| | グラウンド整備業務 | 年1回 |

●施設利用状況

年間利用者数（令和5年度）

| 施設名 | 利用者数 |
|--------------|----------|
| スポーツセンター体育会館 | 241,988人 |
| スポーツセンター競技場 | 125,183人 |
| 草柳庭球場 | 51,158人 |
| 下福田野球場 | 12,124人 |
| 桜森スポーツ広場 | 12,275人 |
| 下福田スポーツ広場 | 19,955人 |
| 合計 | 462,683人 |

【業務実施状況に関する補足説明】

- ・令和5年度は4年ぶりに新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種会場等による施設利用の中止に至ることなく、年間を通じて運営ができました。また、新型コロナウイルスが5類に移行したため、雑誌による情報提供や、ボールやシューズのレンタルサービスを再開しました。
- ・「スポーツ推進のための4つの視点」の、「する」スポーツの側面では、トレーニング室を含め、幅広い世代にスポーツを「する」機会を提供することができました。インターネットフォームによる申込が可能な教室を増やし、参加しやすい体制を作りました。バドミントン・卓球の個人利用の受付方法については、前日の電話による抽選申込みに加え、インターネット申込みを導入し、サービスの向上と業務の効率化を実現しました。
- ・「みる」スポーツの側面では、大和スポーツセンター体育会館にて、卓球プロリーグ「ノジマTリーグ」の木下マイスター東京（男子）及び木下アビエル神奈川（女子）のホームゲームを誘致しました。また、競技場では、ラグビーのプロリーグ戦「ジャパンリーグワンディビジョン2」の浦安D-Rocks対日本製鉄釜石シーウェイブスを誘致し、市内小中学生無料招待チケットを配布しました。関東大学ラグビー対抗戦Aグループの立教大学対明治大学の公式戦を誘致し、市内小中学生へPRチラシを配布することで、レベルの高いプレーを間近で観戦してもらう機会を設けました。
- ・「ささえる」スポーツの側面では、専門知識を生かし、大和なでしこスタジアムにて開催された大和シルフィードホームゲームに合わせた質の高いピッチコンディションを維持しました。
- ・市内の小学校全児童に向けて「スポーツやまと」を配布することで、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、市主催事業など、各団体の情報をまとめて提供するなど、各団体を「ささえる」取り組みを行いました。
- ・「つながる」スポーツの側面では、市民が大和シルフィードを身近に感じてもらえるよう体育会館内に試合や選手の情報を掲示しました。また、中央二・三丁目自治会と協働でのクリーンキャンペーンを再開し、地域とのつながりを深めました。さらに、大和スポーツセンター感謝DAYや陸上競技場の芝生無料開放事業を開催し、地域と利用者とのつながりを推進しました。
- ・夏季及び冬季では冷暖房の運用を適切に行い快適な利用環境を提供しました。昨年度も豪雨や暴風により雨漏りなどが発生しましたが、長年の経験で培った巡回・点検に基づき迅速に対応し、被害を最小限にすることができました。また、エレベーターが故障し、緊急停止しましたが、速やかに復旧するとともに、再発に備えてエレベーター内に緊急用ボックスを設置しました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

| 収 入 | | 支 出 | |
|------------------------------------|-------------|---------------------------------------|-------------|
| 指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額) | 210,000,000 | 人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額) | 61,209,868 |
| 利用料 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金) | 49,227,650 | 施設管理費 (施設の清掃や保守点検、修繕等に支出した金額) | 217,718,727 |
| その他 (出店料、器具等使用料、教室・講習会等参加料 ほか) | 18,304,729 | 事業費 (教室や講習会等の事業に支出した金額) | 3,870,968 |
| 収入計 (①) | 277,532,379 | 支出計 (②) | 282,799,563 |
| 収支決算 (①－②) | | △ 5,267,184 | |

【収支決算に関する補足説明】

・利用料収入については、令和4年度決算額46,805,145円に対し、令和5年度決算額は49,227,650円で、2,422,505円の増収となりました。

増収の主な要因としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、トレーニング室や、競技場の個人利用が令和4年度と比較して増加したことが挙げられます。

・その他収入については、令和4年度決算額10,604,102円に対し、令和5年度決算額は18,304,729円で、7,700,627円の増収となりました。

内訳としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、前年度と比較して、ワクチン接種会場関連委託費の減収はあったものの、教室数が増加したことに伴う教室参加料約156万円や、電気料金等高騰に伴う指定管理施設運営資金(約645万円)、トレーニング室講習会参加料(約10万円)、自動販売機、KDDI 基地局設置電気代(約52万円)等が増収の主な要因となっております。

・人件費については、令和4年度決算額56,911,717円に対し、令和5年度決算額は61,209,868円で、4,298,151円の増額となりました。

増額の主な要因としては、令和4年度に施設管理費で派遣社員として採用した1名分(約253万円)について、令和5年度からは嘱託社員を新たに雇用したことに伴い人件費での計上に変更したことや、各種職員の定期昇給、最低賃金の引上げ等が挙げられます。

・施設管理費は、令和4年度決算額227,109,473円に対し、令和5年度決算額は217,718,727円で、9,390,746円の減額となりました。

減額の主な理由としては、前述の人件費への計上分(約253万円)、省エネ及び電気・ガス単価(約976万円)、消耗什器(約21万円)、消耗品費(約18万円)が挙げられます。

一方、支出としては、修繕費として第1体育室床(約98万円)、中央監視システムの修繕(約

82万円)、トイレのファンの修理(約50万円)、草柳庭球場のシャワーの修理(約70万円)がありました。

- ・事業費については、令和4年度決算額3,928,032円に対し、令和5年度決算額は3,870,968円で、57,064円の減額となりました。

減額の主な要因としては、第一武道場排煙窓改修に伴い教室の回数が減ったことにより、講師への委託費が減少したことが挙げられます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年7月23日（火）に大和市スポーツ推進審議会からの意見聴取を行いました。

| |
|---|
| <p>評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービス向上が図られたか</p> <p>(平等な利用の確保)</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。・受付体制としては1人が受付に常駐し、混雑時には全身体制で、予約・利用許可等の受付処理にスピード感を持って適切に対応していることが確認できました。・平成28年7月の利用料金改定以降、市内外で利用料金が相違する個人利用では、利用者カードで判別できる工夫をするなど、適切に対処されていることが確認できました。 <p>(サービス向上)</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の管理運営に関する苦情や要望については受付表を作成し、内容や対応結果を明確にしています。対応と同時に内容の十分な検証により、利用者サービスのさらなる向上につなげることを期待します。・間接的なサービス向上策として、指定管理者（財団）としての特色を活かし、花壇など敷地内に四季折々の花を植えるなど、例年緑化運動に積極的に取り組み、そのことが利用者満足度の向上に繋がっているものと評価します。・スポーツ情報誌「スポーツやまと」を市内公立小学校全校児童に配布し、市内のスポーツ情報を広く周知したことは評価できます。・各種規定についての的確な判断により遵守することで利用者の平等性を確保するとともに、指定管理者として、常に利用者の満足度を意識し、積極的にサービス向上に努めることを期待します。 |
| <p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <p>(事業、イベント、施設PR)</p> <ul style="list-style-type: none">・市から委託した「トップスポーツ観戦デー」において、卓球プロリーグ「ノジマTリーグ」の木下マイスター東京（男子）及び木下アビエル神奈川（女子）のホームゲームを誘致しました。また、ラグビーのプロリーグ戦「ジャパンリーグワンディビジョン2」の浦安D-Rocks対日本製鉄釜石シーウェイブスを誘致し、市内小中学生無料招待チケットを配布しました。さらに、関東大学ラグビー対抗戦Aグループの立教大学対明治大学の公式戦を誘致し、市内小中学生へPRチラシを配布し、レベルの高いプレーを間近で観戦してもらう機会を設けました。これらは、市スポーツ推進計画の「みる」スポーツの観点から、有効な企画であったと評価できます。・「大和スポーツセンター感謝DAY」を開催して多くの参加をいただいたことは、施設のPR及び地域・利用者とのつながりを推進した事業であったと評価できます。・新たな試みとして、バドミントン・卓球の個人利用の受付方法を前日の電話による抽選申込みに加え、インターネット申込を導入し、サービスの向上と業務の効率化を実現しました。・実施している各種事業については、振り返りや見直しを行い必要に応じて改善を図るなど、利用者・参加者にとってより良い事業運営を期待します。 |

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

(通常の維持管理)

- ・施設の清掃や保守点検等の通常の維持管理は、書類及び実地調査の結果、仕様書等に沿って適切に行われていることが確認できました。
- ・ナショナルトレーニングセンターで発生した体育館床板の剥離による負傷事故を踏まえて、体育室の床面点検を毎日行い必要に応じた対応をしていることなど、施設利用者のための安心・安全を高めるため、施設の丁寧な点検実施は高く評価できます。
- ・スポーツセンター競技場では、芝生の専門知識を習得して適正な管理に努め、大和シルフィードホームゲーム「なでしこリーグ1部」公式戦をはじめ、関東大学ラグビー公式戦の誘致や各種イベントなどが最適な環境で開催できたことは評価できます。
- ・エレベーターが故障し、緊急停止しましたが、速やかに復旧するとともに、再発に備えてエレベーター内に緊急用ボックスを設置しました。
- ・施設の老朽化が進行していることを踏まえ、市への的確な改善提案を行うとともに、今後も丁寧な日々の点検を継続し、なお一層の利用者の安全確保を心掛けてください。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しているか

(管理者としての資質)

- ・事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有していると評価できます。
- ・施設管理の経験豊富な職員や、体育施設管理士、スポーツプログラマーなどスポーツに関する有資格者、設備管理の有資格者、芝生管理の技術者などを適切に配置していました。
- ・他の部門（みどり・よか）の指定管理業務実績を活かした情報交換、人材育成、業務改善活動が効果的に行われており、併せて勤続年数が長く各施設を熟知している者が適所に配置され、施設を安定して適切に管理できる体制づくりに積極的に取り組んでいます。
- ・施設利用アンケートを年2回実施し、アンケート結果については館内掲示、ホームページ上に公表し、要望に対する対応等を掲載しており、利用者に対し開かれた運営が行われていると評価できます。
- ・施設の管理運営を安定的に行う上では、問題ない状況と判断します。